

時代加賀見

外題曲五國

未の美
新彫

お茶

13
3740
33



門 13
3740
88

一北堂笑談時
代鏡十七編之上
為永春水著
秀齋國文画
板元芝
若林堂



魚草

笑談時代加賀見十七編序

大約神史小説ハ理ふかひくも此も亦も。竟亦事の所也。
その妙著上ノ願ふれ。巻紙開て開る者端々く々喜ひ端々して
新奇妙言泣くもハ義理分明笑ハくもハ滑稽洒落這箇のもの
見られず。請や。堪む。看るも忍びず。忽巻紙投と小至らん。こハ
鬼も十七編の此一見ところも。山茶の出入花名も香も。薄紙
策子の端文小例の更とよも。復淳言と述るふあん

安政六巳未歳孟春吉旦 為永春水誌

寺七





寺
下
八

新根が掃病床の
 祝と踊
 京師の女舞と
 召も緯ハ
 本文見也



月
下

城念入
定諸氏
送りの圖

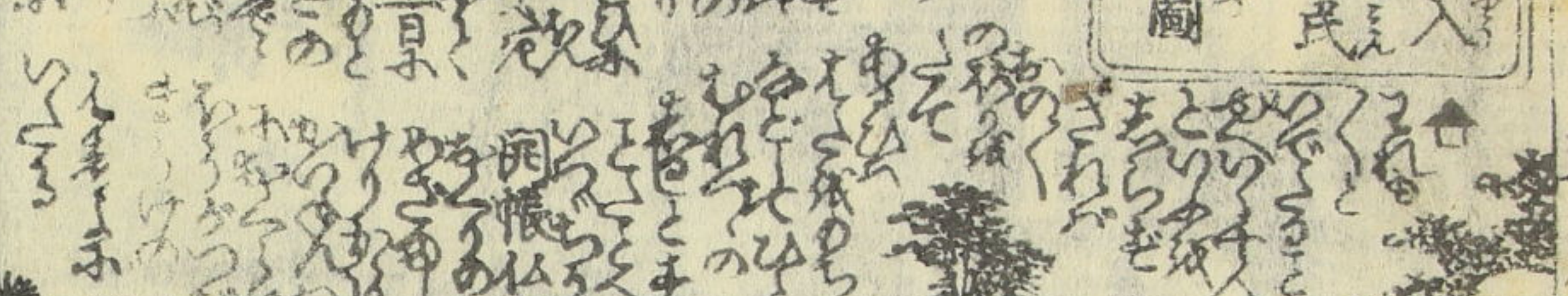
城念入の事
定諸氏の事
送りの事
城念入の事
定諸氏の事
送りの事



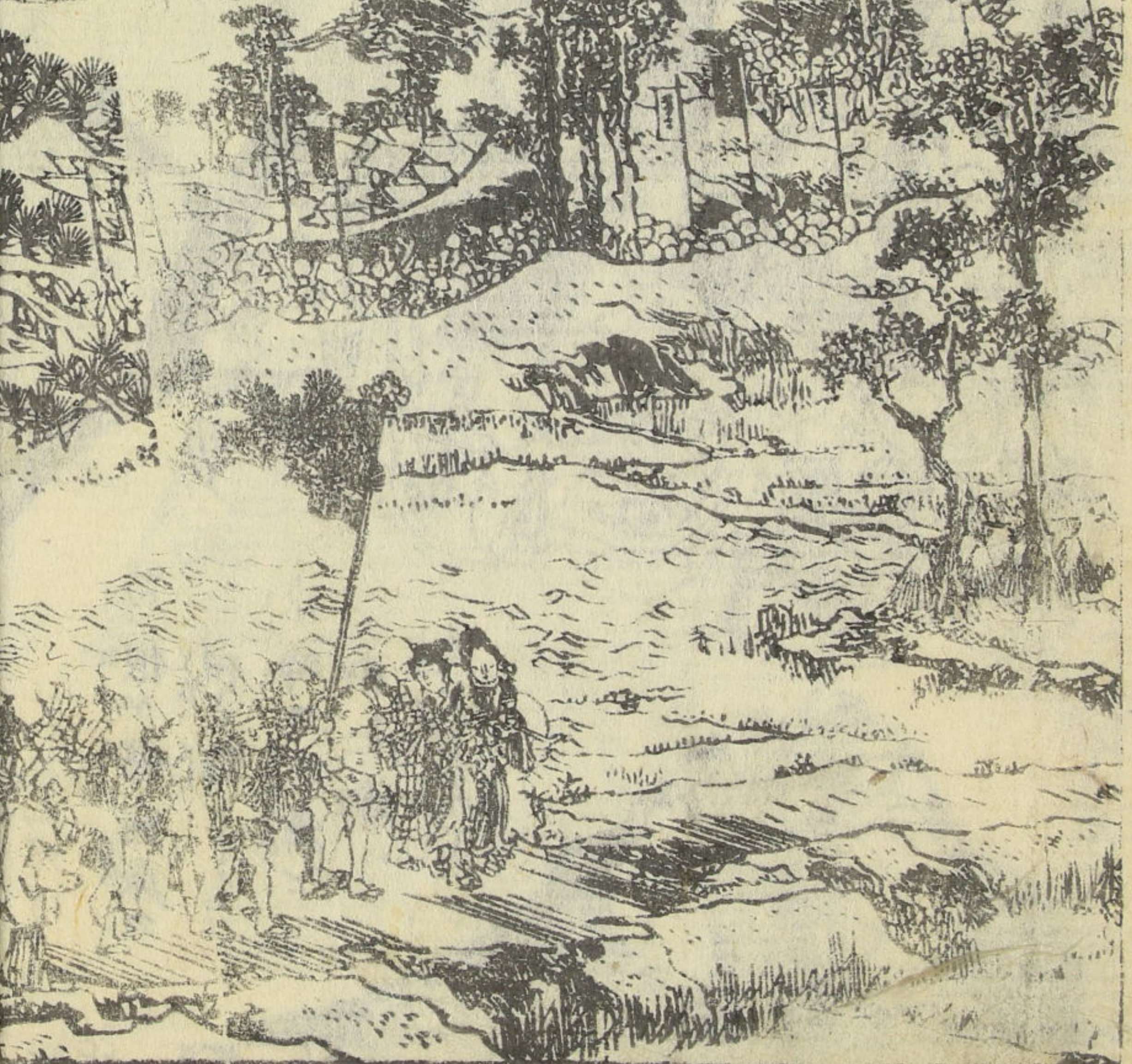
城念入の事
定諸氏の事
送りの事
城念入の事
定諸氏の事
送りの事

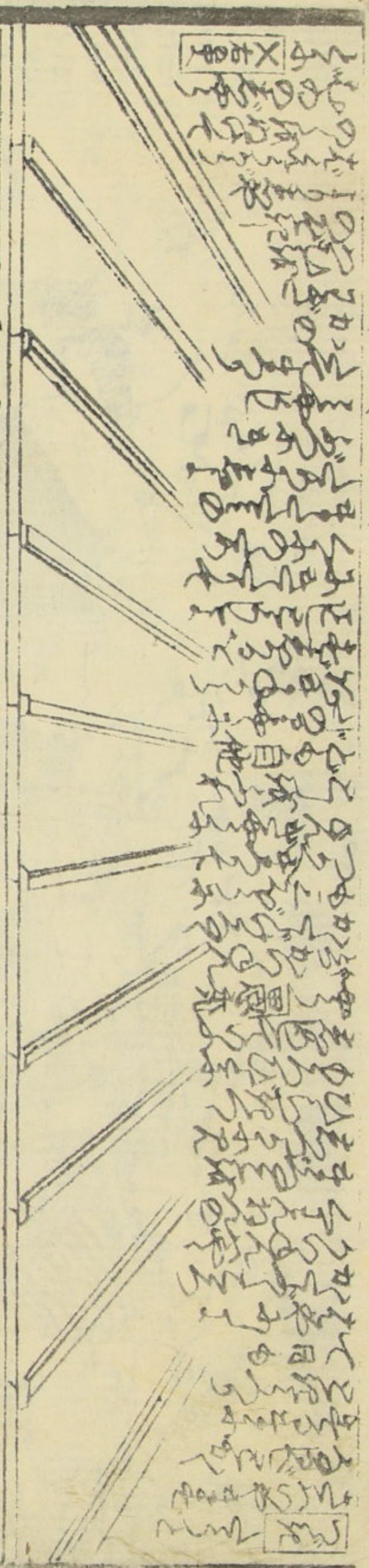
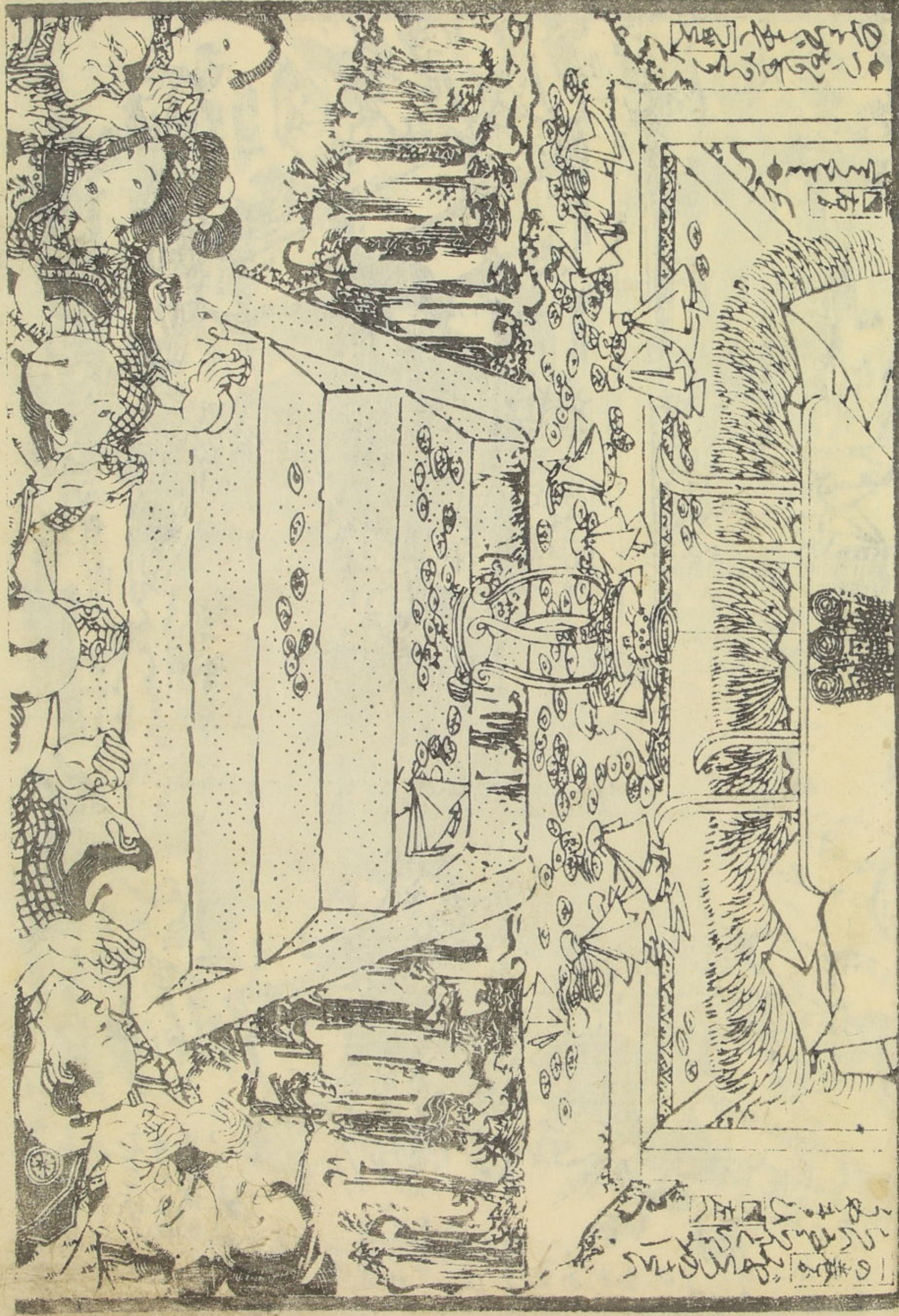


城念入の事
定諸氏の事
送りの事
城念入の事
定諸氏の事
送りの事



城念入の事
定諸氏の事
送りの事
城念入の事
定諸氏の事
送りの事





第十卷



這畫の戒念の寫の
裡の形狀と圖を

緯の末の譯りを見

ついでに...
をかの...
の...
ついでに...
をかの...
の...
ついでに...

ついでに...
をかの...
の...
ついでに...
をかの...
の...
ついでに...

ついでに...
をかの...
の...
ついでに...
をかの...
の...
ついでに...

ついでに...
をかの...
の...
ついでに...
をかの...
の...
ついでに...



甲...
...
...

ついでに...
をかの...
の...
ついでに...
をかの...
の...
ついでに...

